

和歌山縣報

第千三十三號

明治四十三年十二月十八日

○縣令

○和歌山縣令第四十八號

明治三十八年^三縣令第七號小學校令施行細則中左ノ通改ム

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

第百四條 教員ノ旅費ハ左表ニ依ル

准 教 員	正 教 員		資 格 種 別		鐵道賃 二付 哩	船賃 二付 海里	車馬賃 二付 里	日當 二付 一日	宿泊料 二付 泊
	縣 外	縣 內	縣 外	縣 內					
縣 外	二 錢	二 錢	三 錢	三 錢					
縣 內	二 錢	二 錢	三 錢	三 錢					
縣 外	三 錢	三 錢	四 錢	四 錢					
縣 內	三 錢	三 錢	四 錢	四 錢					
縣 外	十五 錢	八 錢	二十 錢	十二 錢					
縣 內	四十 錢	三十 錢	五十 錢	四十 錢					
縣 外	八十 錢	六十 錢	壹 圓	七十 錢					
縣 內	八十 錢	六十 錢	壹 圓	七十 錢					

講習會校務協議會等ニ出席スル場合及修學旅行ノ場合ハ前項ノ半額ヲ給ス

第五條 旅費支給ニ關シテハ本則ニ定ムルモノ、外明治四十三年勅令第二百七十四號内國旅費規則ヲ準用ス但シ移轉料ハ此ノ限ニ在ラス

○訓令

○和歌山縣訓令第五十三號

郡市役所
町村役場

明治三十四年七月本縣訓令甲第四十二號第二條中「各二通」トアレテ「各一通」ニ改ム

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

○告示

○和歌山縣告示第四百六十六號

左記ノ者小學校教員無試驗檢定ニ依リ各頭書ノ教員免許狀ヲ授與セリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

記

和歌山縣平民

尋常小學校本科正教員 土井善枝

和歌山縣士族

尋常小學校本科正教員 太田たね

明治二十四年八月生

明治二十四年六月生

和歌山縣平民

尋常小學校本科正教員 松村七が

明治二十五年八月生

和歌山縣平民

尋常小學校本科正教員 寺島岸子

明治二十二年七月生

三重縣士族

小學校專科^{音樂}正教員 小黒辰

明治十三年八月生

和歌山縣士族

小學校專科^{國語}正教員 藤田千代

明治七年九月生

和歌山縣平民

小學校專科^{算術}正教員 吉田三千秋

明治二十四年九月生

和歌山縣平民

尋常小學校准教員 池田光

明治二十四年六月生

和歌山縣平民

尋常小學校准教員 田崎仙右衛門

明治十八年十月生

愛知縣平民

尋常小學校准教員 山本ヤ江

明治二十年二月生

高知縣士族

尋常小學校准教員 田内稔郎

明治十三年七月生

和歌山縣士族

尋常小學校本科正教員 岩橋繁代

明治二十一年三月生

○和歌山縣告示第四百六十七號

左記自轉車鑑札ハ紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス但シ其ノ所在ヲ發見シタルモノハ最寄郡市役所ニ届出ツヘシ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

番 號 紛 失 月 日 住 所 氏 名
第二八八一號 四十三年十月六日 海草郡和歌浦町 西本幸次郎

○和歌山縣告示第四百六十八號

種牡牛檢査法ニ依リ左記ノ種牡牛ニ證明書ヲ下付シタリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

種牡牛證明書
下付年月日

種 類 年 齡 毛 色 高 々 所有者住所氏名

明治四十三年
十二月十二日

エアシャ 種 明治四十二年 五月 生 白褐班 四 尺 海草郡岡崎村大字井邊 井邊清五郎

○和歌山縣告示第四百六十九號

左記ノ種牡牛ハ其ノ所有者異動ニ付證明書書換下付シタリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

種牡牛證明書
書換下付年月日

種 類 年 齡 毛 色 高 々 舊所有者住所氏名 所有者住所氏名

明治四十三年
十二月十四日

和種 二歳 黒毛 四尺 西牟婁郡栗栖川村大字 西牟婁郡秋津川村 房藏
栗栖川 山本 彌藏 芝

○和歌山縣告示第四百七十號

左記ノ種牡牛ハ其ノ使用ヲ廢止シタリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

種牡牛使用
廢止年月日

種 類 年 齡 毛 色 高 小 所有者住所氏名

明治四十三年
十一月十一日

エアジャコ種

明治三十九年
十二月生

褐白斑 四尺五分

海草郡宮村大字太田

山本 壽章

明治四十三年
十二月八日

和種

參 年 黑 毛 四尺三寸

西牟婁郡下秋津村

楠本 嘉七

○和歌山縣告示第四百七十一號

明治四十三年度ニ於テ開設スヘキ本縣畜産共進會規則左ノ通相定ム

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上 親晴

和歌山縣畜産共進會規則

第一章 總 則

第一條 本會ハ和歌山縣畜産共進會ト稱シ明治四十四年三月三日ヨリ同月六日ニ至ル四日間和歌

山公園内ニ於テ開設ス

第二條 本會事務所ヲ本縣廳内ニ設置ス

第二章 出 品

第三條 本會ノ出品ヲ分チテ左ノ二區トス

第一區 牛

第二區 參考品

第四條 出品牛ハ本縣内ニ於テ出品人ノ一ヶ年以上飼養シタルモノニシテ一戸一人ニ限リ二頭以

内トシ左ニ該當スルモノニ限ル

一、年輪ハ生後十八ヶ月以上七十二ヶ月以下トス

一、畜牛結核病豫防法第二條ニ依リ「ツベルクリン」検査ヲ受クヘキ牛ハ出陳前一ケ年以内ニ「ツベルクリン」検査ヲ受ケ其ノ健康証ヲ有スルモノ

一 其他骨格整理、身体健全ニシテ惡癖及遺傳病ナキモノ

第四條ノ二 參考品ハ本會ノ承認ヲ得タル左記四種類トス

第一種 牛

第二種 畜産製造品(食用品)

第三種 畜産用器具器械並其ノ標本

第四種 飼料品

第五條 出品人ハ本縣内ニ於テ畜産ニ従事スル個人又ハ産牛組合タルヘシ

但シ參考品ノ出品ニ關シテハ此限リニアラス

第六條 出品人ハ別記書式ノ出品目録及解説書各二通ヲ作り所轄郡市役所ヲ經テ明治四十四年一月卅一日限リ本會ニ差出スヘシ

第七條 參考品以外ノ出品ニハ其ノ陳列中被物其他裝飾ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 出品ハ明治四十四年三月三日午前八時會場ニ搬入シ同月六日午後四時搬出スヘシ

但シ開會中出品動物ノ外泊ヲ願出ツル者アルトキハ其事情ニ依リ許可スルコトアルヘシ此ノ場

合ノ規定ノ時刻ニ出陳スヘシ出品ハ會期中撤去スルコトヲ得ス

第九條 出品ハ本會ニ於テ保護ヲ爲スヘシト雖不可抗力ニ依ル損害ハ本會其ノ責ニ任セス

第十條 疾病ニ罹リタル出品動物ハ其陳列ヲ拒絕シ又ハ病厩ニ移シテ治療セシムルコトアルヘシ
第十一條 出品ニ對シテハ本會ニ於テ看守人ヲ付スト雖出品人ニ於テ別ニ相當ノ看護人ヲ附スル
コトヲ得

第三章 會場

第十二條 會場ハ每日午前八時ニ開キ午後四時ニ閉ツ

但シ時宜ニ依リ伸縮又ハ入場觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第十三條 出品ノ陳列場看守人及飼料ニ關スル費用ハ本會ヨリ之ヲ支給ス
但シ飼料ノ種類及分量ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 出品中賣買約定濟ノモノハ本會ヨリ交付スル約定濟ノ票紙ヲ附スヘシ

第十五條 賣買約定濟ノ出品ハ閉場後ニアラサレハ買主ニ引渡スコトヲ得ス

第四章 審査

第十六條 出品ハ參考品ヲ除クノ外審査スルモノトス

第十七條 出品ノ審査ハ明治四十四年三月三日ヨリ同月五日迄ニ終了スルモノトス

第十八條 出品人ハ出品ノ審査ヲ辭シ若ハ之ヲ拒ミ再審ヲ請ヒ授與ノ褒賞ヲ辭シ若ハ之ヲ拒ミ又
ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第五章 褒賞

第十九條 出品優等ノモノニハ左ノ等級ニ從ヒ褒賞ヲ授與スルモノトス

一等 二等 三等 四等

第二十條 前條ノ一二三等賞ニ對シテハ農商務大臣ニ賞金ノ授與ヲ申請スルモノトス

第二十一條 畜産業ニ關シ特別ノ功勞アル者ハ特ニ功勞賞ヲ授與セラル、コトアルヘシ

第二十二條 褒賞ノ授與式ハ明治四十四年三月六日之ヲ行フ

第六章 參觀人心得

第二十三條 本會開會中ハ毎日午前八時ヨリ午後四時迄衆庶ノ參觀ヲ許ス

但シ入場料ヲ要セス

第二十四條 瘋癲醉狂其他場内ノ取締ニ付妨害ノ虞アリト認ムル者ハ入場ヲ拒絕シ或ハ場外ニ送

出セシムルコトアルヘシ

第二十五條 參觀人ハ看守人ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ出品ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ス

第二十六條 出品ヲ購買セントスルモノハ看守人ヲ經テ委員ニ申出ツヘシ

第七章 事務

第二十七條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

事務長 一名

審査長 一名

事務委員長 一名

事務委員 若干名

審査員 若干名

書記 若干名

第二十八條 事務長ハ内務部長ヲ以テ之ニ充ツ

事務長ハ知事ノ指揮ヲ受ケ本會一切ノ事務ヲ統理ス事務長事故アルトキハ事務委員長ヲシテ代

理セシメ又事務ノ幾分ヲ委任スルコトヲ得

第二十九條 審査長ハ農商務省ヨリ派遣ヲ請フモノトス

審査長ハ審査ヲ統轄ス

第三十條 事務委員長ハ内務部第五課長ヲ以テ之ニ充ツ

事務委員長ハ事務長ノ指揮ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第三十一條 事務委員ハ知事之ヲ選任ス

事務委員ハ事務長及事務委員長ノ指揮ヲ承ケ會務ヲ分掌ス

第三十二條 審査員ハ審査長ノ推舉ニヨリ知事之ヲ任命ス

審査員ハ審査長ノ指揮ヲ承ケ審査及之ニ關スル事務ヲ掌理ス

第三十三條 書記ハ知事之ヲ選任ス

書記ハ上司ノ命ヲ受ケテ記錄計算等ノ庶務ニ從事ス

書式

出品目録 (用紙半紙)

何市何町何字何番地

職業

出品人

氏

名印

第一區牛

種類

特徵

名號

產地

性

生年月日
又ハ年齡

用途

毛色

血統
体尺

賣品非賣品

計 (何頭)

右之通ニ候也

明治 年 月 日

和歌山畜産共進會御中

解 說 書 (用紙半紙)

一 出品牛ノ種類及性

一 毛色

一 高サ

一 特徴

一 用途

一 出品者飼養頭數

一 出陳牛ノ飼養年月日及受賞ノ有無

一 出品者ノ經歷

一 名號

一 生年月

一 血統

一 產地

一 審査請求ノ主眼

一 最近三ヶ年間ノ生産頭數

一 飼養方法

右

○和歌山縣告示第四百七十二號

今般馬政局ニ於テ馬匹去勢術練習生募集ニ付希望者ハ左記事項ニ依リ所轄郡市役所町村役場ヲ經由シテ明治四十四年一月二十二日限リ當廳ニ志願書ヲ差出スヘシ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上 親晴

記

一 練習生募集人員 五拾名

二 試驗期日及場所 明治四十四年一月二十五日午前九時ヨリ當廳ニ於テ施行

三 志願者ハ明治三十五年五月二十二日農商務省令第貳號馬匹去勢練習生規則第三條ニ依リ志願書ヲ差出スヘシ(練習生規則並志願書式ハ三十五年二月二十二日ノ官報ニ掲載アリ)

四 本縣下ヨリ採用スル練習生ハ軍馬補充部白河支部(福島縣西白河郡西鄉村)ニ於テ練習ヲ受ケシメ其ノ修業期限ハ二ケ月トス

○和歌山第告示第四百七十三號

左記狩獵免狀明治四十三年十二月八日和歌山縣日高郡龍神村大字湯ノ又山林中ニ於テ出獵中遺失ノ旨届出マリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上 親一晴

記

和歌山縣西牟婁郡上秋津村七百七十番地
平民商業

一田第一〇號乙種二號狩獵免狀

明治四十三年十月二十九日下午附

坂本千代吉

明治十年二月五日生

○和歌山縣告示第四百七十四號

一北海道ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ函館港及小樽港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處十一月三十日限り
之ヲ廢止ス

一三重縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ四日市港及尾鷲港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月七日限り之
ヲ廢止ス

一大阪府ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ安治川口、木津川口及尻無川口ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本
月八日限り之ヲ廢止ス

一神奈川縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ横濱港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月九日限り之ヲ廢止ス
一島根縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ濱田港、外ノ浦港、湯泉津港、久手港、杵築港、美保關港、馬淵港
及安來港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十日限り之ヲ廢止ス

一愛媛縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ川之江港、新居濱、今治港、高濱港、三津濱港、八幡濱港及宇和
島港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十日限り之ヲ廢止ス

一德島縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ中洲港、津田港、岡崎港、壹ノ浦港、小松島港、橋港、由岐港及淺
川港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月九日限り之ヲ廢止ス

一熊本縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ三角港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月八日限り之ヲ廢止ス

一愛知縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ名古屋港及半田港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十日限り之

ヲ廢止ス

一 靜岡縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ清水港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月九日限り之ヲ廢止ス

一 長崎縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ長崎港佐世保港、口ノ津港、枯木、田助港、今福村及勝本港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月八日限り之ヲ廢止ス

一 高知縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ甲浦港、津呂港、室津港、浦戶港、須崎港、宿毛港、清水港及下田港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月九日限り之ヲ廢止ス

一 岡山縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ笠岡港、玉島港、日比港、三蠟港及九蠟港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十一日限り之ヲ廢止ス

一 青森縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ青森港、鮫港及深浦港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十日限り之ヲ廢止ス

一 香川縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ高松港、多度津港、引田港、坂手港、土庄港及豐領港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十一日限り之ヲ廢止ス

一 廣島縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ尾道港、吉浦港、宇品港及嚴島港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十三日限り之ヲ廢止ス

一 鳥取縣ニ於テ虎列拉病豫防ノ爲メ境港ニ於テ船舶檢疫施行中ノ處本月十一日限り之ヲ廢止ス
右通知アリタリ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上 親 晴

和歌山縣告示第四百七十五號

明治四十四年四月入學セシムヘキ本縣師範學校生徒左ノ延募集ス入學志願ノ者ハ本縣師範學校規則第十條及左記要項ヲ承知シ明治四十四年一月十七日迄ニ願書ヲ所轄郡市長ニ差出スヘシ

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上親晴

記

一 募集スヘキ生徒種類及員數

一 本科第一部第一學年女生徒

一 本科第二部

一 豫備科

二 豫備試驗日割

公費生拾名

私費生拾名

四拾名

約八拾名

年 月 日	種 別	自午前八時至全九時	自全九時至全十時	自全十時至全十一時	自全十一時至全十二時	自午後一時至全二時	自午後二時至全三時
明治四十四年 二月二日	男子豫備科	筆算	全上	國語講讀	全上	作文	全上
全 二月二日	女子一年	全	全	全	全	全	全
三 本試驗日割							

四 試驗場所

本試驗ハ本縣師範學校ニ於テ豫備試驗ハ和歌山市及海草郡志願者ニアリテハ師範學校ニ其他ノ各郡志願者ニアリテハ所轄郡校所内ニ於テ之ヲ行フ但本人ノ希望ニヨリ和歌山市及海草郡外ノ者ト雖モ師範學校ニ於テ受験スルコトヲ得此場合ニ於テハ願書ニ其旨附記スヘシ

○和歌山縣告示第四百七十六號

明治四十三年通常縣會議事結了ニ付本月十七日閉會ス

明治四十三年十二月十八日

和歌山縣知事 川上 親 晴

○通牒照會

○通 牒

○内六第一九六六號一

明治四十三年十二月十八日

內務部長 相 良 步

郡 市 長 殿
町村役場御 中

瀬戸内海漁業取締ニ關スル件左記通牒候也

一 明治四十二年十一月農商務省令第五十六號瀬戸内海漁業取締ニ關スル規程ハ來ル四十四年一月ヨリ施行セシメ候就テハ打瀬網及藻手操網等ヲ使用スル漁業者ハ該規定ニ依ル禁止期間及區域等ヲ熟知シ苟モ心得違無之様周知方可然御取計相成度候

○ 辭 令

○ 明治四十三年十二月十三日

明治四十三年通常縣會議事ニ參與ヲ命ス

○ 明治四十三年十二月十五日

給九級俸

依願免本官

十級俸ヲ給ス

十一級俸ヲ給ス

月手當拾五圓ヲ給ス

和歌山縣土木工手ヲ命ス

月俸拾貳圓ヲ給ス

第二工區出張所勤務ヲ命ス

和歌山縣縣誌編纂書記ヲ命ス

月俸貳拾圓ヲ給ス

和歌山縣立新宮中學校教諭ニ任ス

八級俸ヲ給ス

屬 正田三郎
人見信之助

伊都郡書記 小島常一郎

圖書館書記 岩橋 憲

西牟婁郡立高等女學校教授囑託 阪本米三郎

勳八等 平田直井
田中 勇

從七位 赤城維羊

伊藤順治

○明治四十三年十二月十七日

伊都郡紀見村ニ於テ開催スル小作米及秋蒔品評會審査長ヲ命ス

技手 前島半次郎

○町村吏員ノ異動

○明治四十三年十二月十六日認可

東牟婁郡三里村長 中川三陸

○彙報

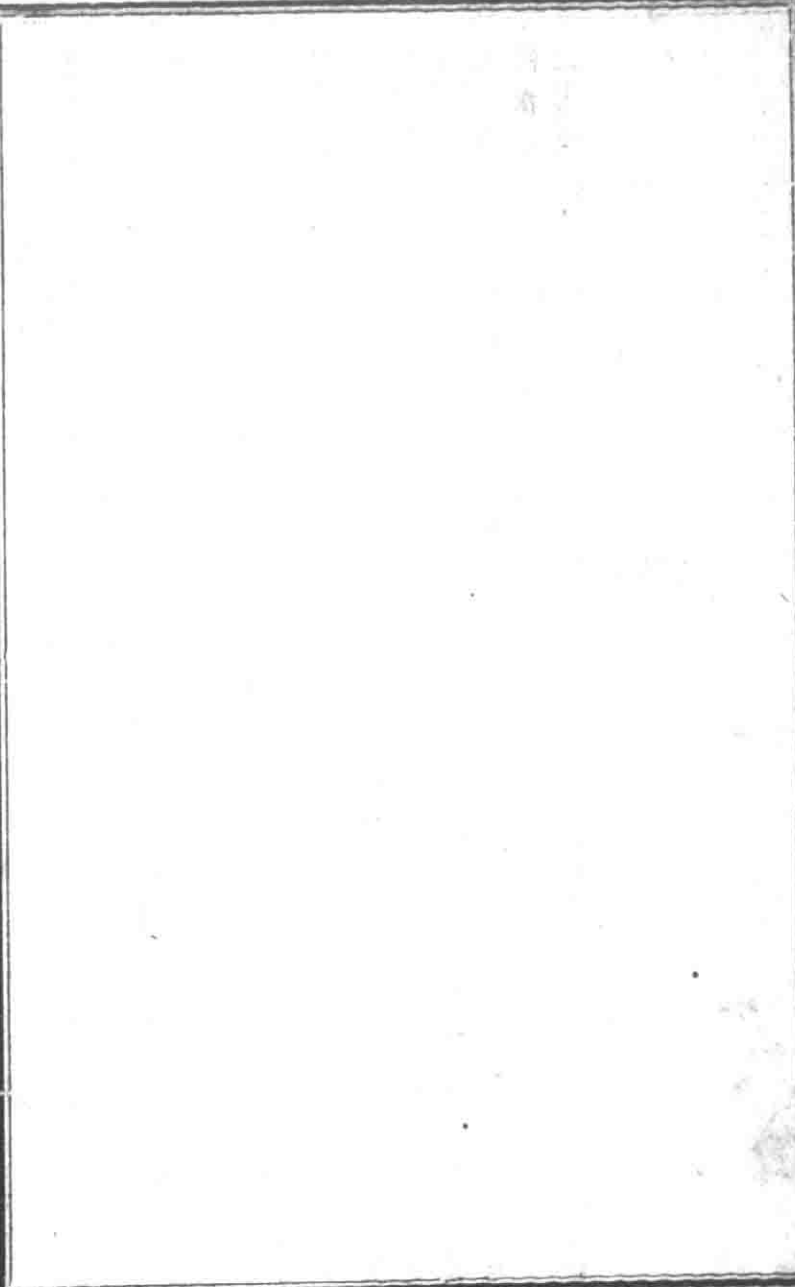
○進階 事務官正七位廣瀬直幹ハ本月十日從六位ニ進階セリ

○觀象

自十二月十三日至十二月十五日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	十二月十三日		十二月十四日		十二月十五日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五九耗八	七六九耗九	七六三耗九	七六八耗一	七六四耗三	七六八耗〇
平均氣溫	五度七	四度九	三度八	四度七	四度八	五度三
最高氣溫	一度〇	八度二	五度八	九度〇	七度四	一度一
最低氣溫	二度二	〇度三	二度二	冰点下〇度三	二度八	〇度九
最多風向	北西	北西	西北西	北	西	北
平均風力	三米五	三米〇	七米四	二米九	四米八	三米四
天氣	曇後雨	曇	牛晴微雪	晴後曇	曇	晴
降水量	四耗六		〇耗〇			
記事現象	午后三時五十分 より九時迄降雨		午后〇時廿五分 より五分間微雪 ハ本年初降ニシテ 前年ヨリ廿八日間 本年ヨリ六日間何 レモ早シ	曉間結霜	午后二時廿三分 十七秒微霜	曉間結霜



明治四十三年十二月十七日印刷
明治四十三年十二月十八日發行
一月三日六日九日十一日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷 和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷 和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷 和歌山市北休賀町六番地 宗七